

【凡例】

学習の目標	知	知識や技能に関する目標。
	思	思考力・判断力・表現力に関する
	学	学びに向かう力に関する目標。

観点別評価	知	知識・技能に関する評価規準。
規準	思	思考・判断・表現に関する評価規
	主	主体的に学習に取り組む態度に関する評価 〔態表〕「主体的に学習する態度」の表現に関する評価規準。 〔態鑑〕「主体的に学習する態度」の鑑賞に関する評価規準。

学年	題材名	教科書 ページ	学習指導要領との関連		学習の目標	観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	「努力を要する」と考えられる生徒への手立て
			領域分野	各学年の内容					
2.3	風景が語るもの	10513	表現 (絵・彫刻)	〔共通事項〕 (1) アイ	知 奥行きや広がりなどを理解し、 構図などを工夫しよう。	知	形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをともに 奥行きや広がりなどを全体のイメージでとらえることを理解して いる。	形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを十分に把握 し、身近な風景がもつ奥行きや広がり、独自の視点からそれらを全体の イメージで捉えることを理解している。	■風景を見るときに形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解でき るよう、描こうとする場所で経験したことなどと関連づけて考えさせ る。
				A表現(2)ア (7)			技能		
				A表現(1)ア (7)	思 身近な風景から感じ取ったよさや美し さをから表現の構想を練ろう。	思	発想・ 構想 身近な風景から感じ取った形や色彩のよさや美しさなどから主題 を生み出し、単純化や省略など全体の構成を考えながら心豊かに 表現する構想を練っている。	身近な風景を見つめ感じ取ったことや考えたことなどをもとによさや美 しさ、奥行きや広がりなどから主題を生み出し、単純化や省略、強調や 配置の変更など創造的な構成や彩色の効果など工夫し、心豊かに表現す る構想を練っている。	■描きたい風景の主題について考えさせたり、構図の取り方などを説明 したりして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (7)イ(7)			鑑賞	風景画の造形的なよさや美しさを感じ取り、身近な風景を表現す るための作者の心情や意図、創造的な工夫について考えたり、身 近な環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取り、生活や社会 を豊かにする美術の働きなどについて考えたりするなどして、美 意識を高め、見方や感じ方を深めている。	多様な視点に立って風景画がもつ造形的なよさや美しさ、奥行きや広がり などを深く感じ取り、作者の心情や意図や創造的な工夫、生活や社会 を豊かにする美術の働きなどについて、根拠をもって深く考え、自分と しての見方や感じ方を深めている。
*目標(3)より。評価もと 準はこのうち 観点別評価に なじむもの	学 身近な風景を表すことに関心をもち、 主体的に取り組もう。	主	態表 美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものもつ形や色彩など から構想を練るなどして工夫して表す活動に主体的に取り組もう としている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、風景がもつ形や色彩、奥行きや広 がりについて興味深く見つめ多様な視点から多くのものを感じ取り構想 を練ろうとしたり、表現方法の試行錯誤を重ねたりして表現活動に取り 組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるように描いている場所をなぜ選んだのか を改めて考えさせたり、水彩絵の具の基本的な使用方法を個人的に指導し たりするなどして意欲を高められるようにする。				
							態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものもつ形や色彩など をもとに見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に主体的に取り組 もうとしている。	自ら進んで深く美術の鑑賞活動に関わり、身近な風景がもつ形や色彩を 感じながら豊かにイメージを広げようとしたり、新たな視点から作品を とらえようとしたりするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとし ている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴 などについて考えさせるようにする。
2.3	自分と向き合う	14517	表現 (絵・彫刻)	〔共通事項〕 (1) アイ	知 色彩や材料などの性質を理解し、自分 らしさを表す方法を工夫しよう。	知	形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをともに 自分らしさや生命感などを全体のイメージでとらえることを理解 している。	形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを十分に把握 し、それらをもとに自分らしさや生命感など独自の視点から全体のイ メージでとらえることを理解している。	■自分自身の内面をとらえ直すために、自分について言葉で書き出させ たり、とらえる時に形や色彩が感情にもたらす効果について考えさせ、 自分のイメージと形や色彩を関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (7)			技能		
				A表現(1)ア (7)	思 自分自身と向き合うことから表現の構 想を練ろう。	思	発想・ 構想 自分自身の表情や姿から感じ取ったことや考えたことなどから主題 を生み出し、単純化や強調など全体の構成を考えながら心豊か に表現する構想を練っている。	自分自身を見つめ感じ取ったことや考えたことなどをもとに主題を生み 出し、単純化や強調など創造的な構成や彩色の効果など独自の視点から 工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	■どのような自分を表現したいのか主題について考えさせたり、どのよ うにしたら主題が効果的に表せるのか構図の取り方などを説明したりし て、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (7)			鑑賞	自画像の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分自身を表現する ための作者の心情や意図と創造的な工夫などについて考えるなど して、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って自画像がもつ造形的なよさや美しさ、奥深さや豊か さを強く感じ取り、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などについ て、根拠をもって深く考え、自分としての見方や感じ方を深めている。
*目標(3)より。評価もと 準はこのうち 観点別評価に なじむもの	学 自分らしさを表すことに関心をもち、 主体的に取り組もう。	主	態表 美術の創造活動の喜びを味わい、自分自身から感じ取ったことや 自分自身について考えたことなどをもとにした表現の学習活動に 主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、独自の視点から自己の内面をじっ くりと見つめ直し構想を練ろうとしたり、表現方法の試行錯誤を重ねた りして表現活動に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるよう自分自身のどのような姿を表現した いか改めて考えさせたり、描画材料の基本的な使い方を個人的に指導 したりするなどして意欲を高められるようにする。				
							態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、自画像の鑑賞の学習活動に主体 的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、自画像がもつ造形的なよさや美し さ、奥深さや豊かさをについて新たな視点から作品をとらえようとする などして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴 などについて考えさせるようにする。



2.3	水墨画の世界	2 2 2 3	表現 (絵・彫刻)	〔共通事項〕 (1) アイ	知	墨の性質を理解し、効果的な表現方法を工夫しよう。	知	形や色彩、墨などの材料が感情にもたらす効果や墨がもつ造形的な特徴をもとに全体のイメージでとらえることを理解している。	形や色彩、墨などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを十分に把握し、それらが感情にもたらす効果などをもとに、独自の視点から全体のイメージでとらえることを理解している。	■墨で表現するとき、形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、墨を使って描こうとする内容について日常目にしてしているものなどから考えさせる。
				A表現(2)ア (7)	知		技能	墨の特性を生かし、意図に応じて自分の表現の仕方を追求して表している。	身につけた墨の生かし方をもとに、意図に応じて新たな表現方法を試行錯誤するなどして創意工夫し豊かに表している。	■具体的な筆づかいや墨の生かし方の実演を行いながら説明して既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が描きたいことを確認させる。
				A表現(1)ア (7)	思	墨による表現の特徴を生かして表現の構想を練ろう。	発想・ 構想・ 鑑賞	墨の特徴や効果などから主題を生み出し、単純化や省略、強調、墨の効果などを考えながら心豊かに表現する構想を練っている。 水墨画の伝統や文化のよさや、墨の特徴を生かして表した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	墨の特徴や効果を生かしながら感じ取ったことや考えたことなどをもとに主題を生み出し、単純化や強調など創造的な構成や墨の効果など独自の視点から工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 独自の視点に立って水墨画の伝統や文化のよさや、墨の効果や特徴を生かした作品がもつ造形的なよさや美しさを強く感じ取り、作者の心情や意図や創造的な工夫、美術文化の継承と創造などについて、根拠をもって深く考え、自分としての見方や感じ方を深めている。	■描きたい水墨画の主題について考えさせたり、描く内容について考えていることを言葉に表すように指導したりするなどして、構想しやすくする。 ■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、墨を生かした活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	水墨画に関心をもち、主体的に取り組もう。	主 態 鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、風景や墨の特徴などから感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、墨の特徴を生かした作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、独自の視点から墨の効果や特徴を生かした作品についてじっくりと見つめ直し構想を練ろうとしたり、表現方法の試行錯誤を重ねたりして表現活動に取り組もうとしている。 自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、墨の効果や特徴を生かした作品がもつ造形的なよさや美しさ、優しさや楽しさ、不思議さなどについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■主体的に表現の活動ができるようなぜ墨の表現をするときにその主題にしたのかを改めて考えさせたり、墨の基本的な描画方法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。 ■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や墨で表現した意味などについて考えさせるようにする。
2.3	形と色彩が織りなすイメージ	2 4 2 5	表現 (絵・彫刻)	〔共通事項〕 (1) アイ	知	形や色彩が感情にもたらす効果を理解し、抽象的な表現を工夫しよう。	知	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに抽象的な表現について全体のイメージでとらえることを理解している。	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを十分に把握し、それらが感情にもたらす効果などをもとに、独自の視点から全体のイメージでとらえることを理解している。	■形や色彩、材料などが感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、モダンテクニックなどに関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (7)	知		技能	材料や用具の生かし方を身につけ、意図に応じてつくり方を工夫し制作の順序を考えながら見通しをもって表している。	身につけた材料や用具の生かし方をもとに、意図に応じて新たな表現方法を試行錯誤するなどして追求し、制作の順序や環境との関係性などを総合的に考えながら創意工夫し豊かに表している。	■具体的な描画材料などの生かし方の実演を行いながら説明してモダンテクニックなどの既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が表現したいことを確認させる。
				A表現(1)ア (7)	思	心の中を深く見つめ、感じ取ったり考えたりしたことから表現の構想を練ろう。	発想・ 構想・ 鑑賞	感じ取ったこと、考えたこと、深く見つめたこと、偶然性などから主題を生み出し、単純化や省略、強調や再構成などを考えながら材料や用具の特徴を生かし心豊かに表現する構想を練っている。 抽象的な表現の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	感じ取ったこと、考えたこと、深く見つめたこと、偶然性などをもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調や再構成など独自の視点から工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 独自の視点に立って抽象的な作品がもつ造形的なよさや美しさを強く感じ取り、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、自分としての見方や感じ方を深めている。	■抽象表現を使って描きたい世界の主題について考えさせたり、偶然の効果などを活用させたりするなどして、構想しやすくする。 ■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	抽象的な表現に関心をもち、主体的に取り組もう。	主 態 鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、感じ取ったこと、考えたこと、深く見つめたこと、偶然性などをもとにした抽象的な表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、感じ取ったこと、考えたこと、深く見つめたこと、偶然性などをもとにした抽象的に表現された作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、独自の視点から抽象的な作品についてじっくりと見つめ直し構想を練ろうとしたり、表現方法の試行錯誤を重ねたりして表現活動に取り組もうとしている。 自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、抽象的な表現の作品がもつ造形的なよさや美しさ、優しさや楽しさ、不思議さなどについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■主体的に表現の活動ができるようなぜ自分がその主題にしたのかを改めて考えさせたり、モダンテクニックを改めて指導したりするなどして意欲を高められるようにする。 ■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や想像の世界の意味などについて考えさせるようにする。
2.3	版表現の可能性	2 6 2 7	表現 (絵・彫刻)	〔共通事項〕 (1) アイ	知	版表現の技法や効果を理解し、彫りや刷りを工夫しよう。	知	版表現を通して形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。	版表現を通して形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを十分に把握し、それらが感情にもたらす効果などをもとに、独自の視点から全体のイメージでとらえることを理解している。	■版表現をするとき、形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるように、学習する内容について日常生活からヒントを得させるなどして考えさせる。
				A表現(2)ア (7)(4)	知		技能	版表現の材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し制作の順序を考えながら見通しをもって表している。	身につけた版表現の材料や用具の生かし方をもとに、意図に応じて新たな表現方法を試行錯誤するなどして創意工夫して豊かに表している。	■具体的な版画の制作方法の実演を行いながら説明して既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が表現したいことを確認させる。
				A表現(1)ア (7)	思	版の特徴から表現したいことを考え、その効果を生かして表現の構想を練ろう。	発想・ 構想・ 鑑賞	対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどをもとに主題を生み出し、画面全体の調和や材料の特徴などを考え創造的な構成を工夫しながら心豊かに版表現の構想を練っている。 版表現のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な工夫などについて考え、美意識を高め見方や感じ方を深めている。	対象を深く見つめ感じ取ったこと、考えたことなどをもとに主題を生み出し、画面全体の調和や版表現の材料の特徴などを考え、単純化や省略、強調や再構成など独自の視点から創造的な工夫をして、心豊かに表現する構想を練っている。 独自の視点に立って版表現の作品がもつ造形的なよさや美しさを強く感じ取り、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、自分としての見方や感じ方を深めている。	■版表現で表したい主題について考えさせたり、表現したい内容について考えていることを言葉に表すように指導したりするなどして、構想しやすくする。 ■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、版表現の活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	版で表すことに関心をもち、主体的に取り組もう。	主 態 鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさや面白さをもとに構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする版表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく版表現を用いた作品など見方や感じ方を広げる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、独自の視点から版表現の作品についてじっくりと見つめ直し構想を練ろうとしたり、表現方法の試行錯誤を重ねたりして表現活動に取り組もうとしている。 自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、版表現の特徴を生かした作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■主体的に表現の活動ができるようなぜ版表現をするのにその主題にしたのかを改めて考えさせたり、版画の基本的な制作方法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。 ■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や版で表現した意味などについて考えさせるようにする。

2.3	この場所、この場面	28・29	表現（絵・彫刻）	〔共通事項〕 (1) アイ	知	場所や場面を空間としてとらえ、材料などを工夫して表そう。	知識	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、立体感や遠近感、量感など造形的な特徴などをもとに、場面や空間がもつよさや美しさを全体のイメージでとらえることを理解している。	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、立体感や遠近感、量感など造形的な特徴などを十分に把握し、それらが感情にもたらす効果などをもとに、独自の視点から全体のイメージでとらえることを理解している。	■形や色彩、材料などが感情にもたらす効果を実感的に理解できるように、身近な経験と関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (7)(4)			技能	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序を考えながら見直しをもって表している。	身につけた材料や用具の生かし方をもとに、意図に応じて新たな表現方法を試行錯誤するなどして追求し、制作の順序や環境との関係性などを総合的に考えながら創意工夫し豊かに表している。	■具体的な材料などの生かし方の実演を行いながら説明して立体表現などの既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が表現したいことを確認させる。
				A表現(1)ア (7)	思	心に残った出来事や情景から表したいことを考え、表現の構想を練ろう。	発想・構想	心に残った出来事や場面から主題を生み出し、省略や強調、創造的な構成や材料の工夫などを考え、心豊かに表現する構想を練っている。	心に残った出来事や場面から主題を生み出し、作品全体の調和や材料の特徴などを考え、強調や再構成、配置の工夫など独自の視点から創造的な工夫をして、心豊かに表現する構想を練っている。	■立体表現を使って表現したい心に残った時を考えさせたり、具体的な場面を写真で再現させたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (7)			鑑賞	心に残った出来事や場面などをもとにつくられた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図などについて考え、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って立体に表した作品がもつ造形的なよさや美しさを強く感じ取り、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	情景を立体的に表現することに興味をもち、主体的に取り組もう。	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、心に残った出来事や場面などをもとにした立体の表現活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、独自の視点から立体感や遠近感、量感など造形的な特徴などを十分に把握し、立体作品についてじっくりと見つめ直し構想を練ろうとしたり、表現方法の試行錯誤を重ねたりして表現活動に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようになぜ自分がその場面を選択したのかを改めて考えさせたり、具体的な場面を写真などで再現させたりするなどして意欲を高められるようにする。				
態鑑			美術の創造活動の喜びを味わい、心に残った出来事や場面などをもとにした立体作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、立体に表した作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や表現した場所や場面の意味などについて考えさせるようにする。					
2.3	形を研ぎ澄ませて	30・31	表現（絵・彫刻）	〔共通事項〕 (1) アイ	知	材料の性質を理解し、抽象的な形を表す方法を工夫しよう。	知識	形や色彩、材料の質感やまわりの空間などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、それらがもつ強さや美しさ、緊張感などを全体のイメージでとらえることを理解している。	形や色彩、材料の質感やまわりの空間などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを十分に把握し、それらがもつ強さや美しさ、緊張感などをもとに、独自の視点から全体のイメージでとらえることを理解している。	■形や色彩、材料などが感情にもたらす効果を実感的に理解できるように、身近な経験と関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (7)(4)			技能	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序などを総合的に考えながら見直しをもって表している。	身につけた材料や用具の生かし方をもとに、意図に応じて新たな表現方法を試行錯誤するなどして創意工夫し豊かに表している。	■具体的な材料などの生かし方の実演を行いながら説明して立体表現などの既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が表現したいことを確認させる。
				A表現(1)ア (7)	思	形や色彩を単純化、抽象化しながら表現の構想を練ろう。	発想・構想	対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもとに主題を生み出し、省略や強調、材料の特徴などを考え、創造的な構成を工夫するなどして、心豊かに表現する構想を練っている。	対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもとに主題を生み出し、作品全体の調和や材料の特徴などを考え、省略や強調、材料の特徴など独自の視点から創造的な工夫を十分に、心豊かに表現する構想を練っている。	■抽象表現を使って表現したい世界の主題について考えさせたり、材料の特徴などを活用させたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (7)			鑑賞	対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもとにつくられた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図などについて考え、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもとにつくられた作品がもつ造形的なよさや美しさを強く感じ取り、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	抽象的な彫刻に関心をもち、主体的に取り組もう。	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間がもたらす効果などをもとに創造的に構成するなどして制作された立体の表現活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、独自の視点から量感や動勢などの造形的な特徴などを十分に把握し、立体作品についてじっくりと見つめ直し構想を練ろうとしたり、表現方法の試行錯誤を重ねたりして表現活動に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようになぜ自分がその主題にしたのかを改めて考えさせたり、材料の特徴を生かすために改めて指導したりするなどして意欲を高められるようにする。				
態鑑			美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間がもたらす効果などをもとに創造的に構成するなどして制作された立体作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさ、材料の質感やまわりの空間がもたらす効果などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や表現した場所や場面の意味などについて考えさせるようにする。					

2.3	場と形の響き合い	3 2 3 3	表現 (絵・彫刻)	〔共通事項〕 (1) アイ	知	環境と響き合う形や色彩などの特徴を理解し、表現方法を工夫しよう。	知	形や色彩、材料の質感や周囲の環境などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、それらがもつ美しさや豊かさ、環境との調和などについて全体のイメージでとらえることを理解している。	形や色彩、材料の質感や周囲の環境などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを十分に把握し、それらがもつ強さや美しさ、緊張感などをもとに、独自の視点から全体のイメージでとらえることを理解している。	■形や色彩、材料などが感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験や周囲の環境と関連づけて考えさせる。		
				A表現(2)ア (7)(4)			技能	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序や環境との関係性などを総合的に考えながら見通しをもって表している。	身につけた材料や用具の生かし方をもとに、意図に応じて新たな表現方法を試行錯誤するなどして追求し、制作の順序や環境との関係性などを総合的に考えながら創意工夫し豊かに表している。	■具体的な材料などの生かし方の実演を行いながら説明して立体表現などの既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が表現したいことを確認させる。		
				A表現(1)ア (7)	思	作品を設置する場所から主題を生み出し、構想を練ろう。	発想・ 構想	対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の特徴などを考え、創造的な構成を工夫するなどして、心豊かに表現する構想を練っている。	対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の特徴などを考え、省略や強調、材料の特徴など独自の視点から創造的な工夫を十分に、心豊かに表現する構想を練っている。	■抽象表現を使ってまわりの環境と表現したい作品の関連性から主題について考えさせたり、材料の特徴などを活用させたりするなどして、構想しやすくする。		
				B鑑賞(1)ア (7)イ(7)	思		鑑賞	対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、想像したこと、まわりの空間との関係性などをもとにつくられた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図などについて考えたり、身近な環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取り、生活や社会を豊かにする美術の働きなどについて考えたりするなどして見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、想像したこと、まわりの空間との関係性などをもとにつくられた作品がもつ造形的なよさや美しさを強く感じ取り、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きなどについて、根拠をもって深く考え、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。		
			*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	身近な環境と響き合う彫刻に関心を持ち、主体的に取り組もう。	主	美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間がもたらす効果などをもとに創造的に構成するなどして制作された立体の表現活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、独自の視点から形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間との関係性などがもたらす美しさや豊かさなどを十分に把握し、立体作品についてじっくりと見詰め直し構想を練ろうとしたり、表現方法の試行錯誤を重ねたりして表現活動に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようになぜ自分がまわりの空間との関係性からその主題にしたのかを改めて考えさせたり、材料の特徴を生かすために改めて指導したりするなどして意欲を高められるようにする。			
					主	美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間との関係性などがもたらす美しさや豊かさなどをもとに制作された立体の作品について鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさ、材料の質感やまわりの空間との関係性などがもたらす効果などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や表現した場所や場面の意味などについて考えさせるようにする。				
2.3	生命感あふれる表現	3 4 3 5	鑑賞 (絵・彫刻)	〔共通事項〕 (1) アイ	知	作品の造形的な特徴から、それぞれの作家の作風をとらえよう。	知	形や色彩、材料の性質などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、それらがもつ美しさや豊かさ、生命感などを全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	形や色彩、材料の性質などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを十分に把握し、それらがもつ美しさや豊かさ、生命感などをもとに、独自の視点から全体のイメージでとらえることを理解している。	■形や色彩、材料などが感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。		
							技能					
							発想・ 構想					
				B鑑賞(1)ア (7)	思	作者がどのように表そうとしたのか、作者の意図や表現の工夫を考えよう。	思	鑑賞	対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもとにつくられた作品の造形的なよさや美しさ、生命感などを感じ取り、作者の言葉も参考にして、作者の心情や表現の意図などについて考え、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもとにつくられた作品がもつ造形的なよさや美しさ、生命感などを強く感じ取り、作者の言葉も参考にして、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身のことと関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。	
			*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	それぞれの作家と作品に関心を持ち、主体的に鑑賞しよう。	主	美術の創造活動の喜びを味わい形や色彩の美しさ、材料の性質などがもたらす美しさや豊かさ、生命感などをもとに制作された作品について作者の言葉も参考にして鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさ、材料の性質などがもたらす美しさや豊かさ、生命感などの効果などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自分表現活動と関連づけて考えさせたり、作家の作品や生涯について説明したりするなどして興味をもたせ、生命感のある表現について考えさせるようにする。			

2.3	日本らしさ① 物語を伝える絵巻物の世界	3 8 4 0	鑑賞（絵・彫刻）	[共通事項] (1) アイ	知	絵巻物の内容や造形的な特徴を理解しよう。	知	形や色彩、余白や空間の効果をもとに絵巻物の作品について見立てたり心情などと関連づけたりするなどして全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	形や色彩、余白や空間の効果などを十分に把握し、絵巻物の作品について見立てたり心情などと関連づけたりするなどして独自の視点からそれらを全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	■形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。	
				B鑑賞(1)ア (ア)イ(イ)	思	絵巻物のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を深めよう。	思	作品がもつよさや美しさを感じ取り、絵巻物の作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って対象を深く見詰め作品がもつよさや美しさを強く感じ取り、絵巻物の作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について根拠をもって深く考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身の生活と関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。	
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	絵巻物に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	美術の創造活動の喜びを味わい、絵巻物の作品や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて深く味わい、絵巻物の作品や関連する美術文化などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり、当時の文化的背景について説明したりするなどして興味をもたせ、絵巻物に描かれた世界について考えさせるようにする。	
2.3	日本らしさ② 金の表現、墨の表現	4 1 4 4	鑑賞（絵・彫刻）	[共通事項] (1) アイ	知	障屏画や水墨画の内容や造形的な特徴を理解しよう。	知	形や色彩、金や墨など材料の性質や、余白や空間の効果をもとに障屏画や水墨画の美術作品について全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	形や色彩、金や墨など材料の性質や、余白や空間の効果をもとに障屏画や水墨画の作品について見立てたり心情などと関連づけたりするなどして独自の視点からそれらを全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	■形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。	
				B鑑賞(1)ア (ア)イ(イ)	思	障屏画や水墨画のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を深めよう。	思	作品がもつよさや美しさを感じ取り、障屏画や水墨画の作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って対象を深く見詰め作品がもつよさや美しさを強く感じ取り、障屏画や水墨画の作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について根拠をもって深く考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身が知っていることと関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。	
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	障屏画や水墨画に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	美術の創造活動の喜びを味わい、障屏画や水墨画の作品や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて深く味わい、障屏画や水墨画の作品や関連する美術文化などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり、当時の文化的背景について説明したりするなどして興味をもたせ、障屏画や水墨画に描かれた世界について考えさせるようにする。	
2.3	日本らしさ③ 琳派のデザイン性	4 5 4 7	鑑賞（デザイン・工芸）	[共通事項] (1) アイ	知	琳派の造形的な特徴を理解しよう。	知	形や色彩、材料などの性質や、構成の美しさなどをもとに琳派の作品について全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	形や色彩、材料の性質や、構成の美しさなどをもとに琳派の作品について独自の視点からそれらを全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	■形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。	
				B鑑賞(1)ア (イ)イ(イ)	思	琳派の造形のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を深めよう。	思	琳派の作品がもつよさや美しさを感じ取り、独特のデザイン性を用いた作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承や創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って対象を深く見詰め琳派の作品がもつよさや美しさを強く感じ取り、独特のデザイン性を用いた作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について根拠をもって深く考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身が知っていることと関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。	
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	琳派の造形に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	美術の創造活動の喜びを味わい、琳派の作品や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて深く味わい、琳派の作品や関連する美術文化などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり、当時の文化的背景や現代への影響について説明したりするなどして興味をもたせ、琳派の世界について考えさせるようにする。	

2.3	日本らしさ④ 浮世絵、庶民の楽しみ	4 8 ・ 4 9	鑑賞 (絵・彫刻)	[共通事項] (1) アイ	知	浮世絵の造形的な特徴を理解しよう。	知	知識	形や色彩、余白や空間が感情にもたらす効果をもとに浮世絵の作品について見立てるなどして全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	形や色彩、余白や空間が感情にもたらす効果をもとに浮世絵の作品について見立てるなどして独自の視点からそれらを全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	■形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。	
				B鑑賞(1)ア (ア)イ(イ)	思	浮世絵のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を深めよう。	思	発想・構想	浮世絵の作品がもつよさや美しさを感じ取り、省略や強調、見立てやユーモアなどを用いた作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って対象を深く見詰め浮世絵の作品がもつよさや美しさを強く感じ取り、省略や強調、見立てやユーモアなどを用いた作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化について根拠をもって深く考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身が知っていることと関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。	
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	浮世絵に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	態度	美術の創造活動の喜びを味わい、浮世絵の作品や関連する美術文化などを見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて深く味わい、浮世絵の作品や関連する美術文化などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり、当時の文化的背景や西洋への影響について説明したりするなどして興味をもたせ、浮世絵について考えさせるようにする。	
2.3	日本らしさ⑤ 美術がつなぐ世界と日本	5 0 ・ 5 1	鑑賞 (絵・彫刻)	[共通事項] (1) アイ	知	日本の美術が西洋美術に及ぼした影響について理解しよう。	知	知識	形や色彩、材料などの性質、余白や空間が感情にもたらす効果をもとに日本と日本の作品から影響を受けた欧米諸国の作品の関係性や、それらを全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	形や色彩、材料などの性質、余白や空間が感情にもたらす効果をもとに日本と日本の作品から影響を受けた欧米諸国の作品の関係性や、独自の視点からそれらを全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	■形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。	
				B鑑賞(1)ア (ア)イ(イ)	思	西洋美術との関係をもとに日本美術の特徴について考え、見方や感じ方を深めよう。	思	発想・構想	日本と日本の作品から影響を受けた欧米諸国の作品がもつよさや美しさを感じ取り、作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って対象を深く見詰め浮世絵の作品がもつよさや美しさを強く感じ取り、省略や強調、見立てやユーモアなどを用いた作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について根拠をもって深く考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、現在自分が興味のあることと関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。	
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	身近な造形表現の中にある日本的な特徴に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	態度	美術の創造活動の喜びを味わい、日本と日本の作品から影響を受けた欧米諸国の作品や関連する美術文化などを見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて深く味わい、浮世絵の作品や関連する美術文化などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり、当時の文化的背景や西洋美術に与えた影響について説明したりするなどして興味をもたせ、日本美術と世界との関係について考えさせるようにする。	

2.3	造形表現のパワー	5 2 ・ 5 3	鑑賞（絵・彫刻）	〔共通事項〕 (1) アイ	知	古代の人々の造形表現について理解しよう。	知	知識	形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに古代の作品について量感や動勢など全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに古代の作品について量感や動勢など独自の視点からそれらを全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	■形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。	
				B鑑賞(1)ア (7)イ(イ)	思	古代の造形表現のよさや美しさを感じ取り、その特徴について考えよう。	思	発想・構想	鑑賞	古代の作品がもつよさや美しさを感じ取り、作者の制作の意図や表現の工夫、関連する古代の文化について考えたり、美術文化の継承と創造について考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って対象を深く見詰め古代の作品がもつよさや美しさを強く感じ取り、作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について根拠をもって深く考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分が過去に表現したことと関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	古代の人々の作品に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	態表	鑑賞	美術の創造活動の喜びを味わい古代の美術作品や関連する古代の文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて深く味わい、古代の作品や関連する美術文化などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり、古代の文化について説明したりするなどして興味をもたせ、古代の美術作品について考えさせるようにする。
2.3	祈りの造形、仏像の美	5 4 ・ 5 5	鑑賞（絵・彫刻）	〔共通事項〕 (1) アイ	知	仏像に特有な造形表現について理解しよう。	知	知識	形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに仏像について空間の効果、量感や動勢など全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに仏像について空間の効果、量感や動勢など独自の視点からそれらを全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	■形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。	
				B鑑賞(1)ア (7)イ(イ)	思	仏像の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めよう。	思	発想・構想	鑑賞	仏像がもつよさや美しさ、優しさや力強さ、静寂さなどを感じ取り、それぞれの時代ごとの表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って対象を深く見詰め仏像がもつよさや美しさ、優しさや力強さ、静寂さなどを強く感じ取り、それぞれの時代ごとの表現の工夫、関連する古代の文化について根拠をもって深く考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身が知っていることと関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	仏像に興味をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	態表	鑑賞	美術の創造活動の喜びを味わい仏像や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて深く味わい、仏像や関連する美術文化などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり、古代の文化について説明したりするなどして興味をもたせ、古代の美術作品について考えさせるようにする。
2.3	ルネサンス、人間の発見	5 6 ・ 5 7	鑑賞（絵・彫刻）	〔共通事項〕 (1) アイ	知	ルネサンスの美術について理解しよう。	知	知識	形や色彩、材料などの性質、立体感や遠近感などをもとにルネサンスの美術について全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	形や色彩、材料などの性質や、立体感や遠近感などをもとにルネサンスの美術について独自の視点からそれらを全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	■形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。	
				B鑑賞(1)ア (7)	思	ルネサンス美術の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めよう。	思	発想・構想	鑑賞	西洋で受け継がれてきた表現の特質などからルネサンスの美術作品がもつよさや美しさ、静けさなどを感じ取り、新たな表現を目指した作者の制作の意図や表現の工夫、関連する文化や社会について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って西洋で受け継がれてきた表現の特質などからルネサンスの美術作品がもつよさや美しさ、静けさなどを強く感じ取り、ルネサンスの時代の表現の工夫、関連する文化や社会について根拠をもって深く考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身が知っていることと関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	ルネサンスの美術に興味をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	態表	鑑賞	美術の創造活動の喜びを味わいルネサンスの美術作品や関連する美術や科学などの文化を考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて深く味わい、ルネサンスの作品や関連する美術や科学などの文化などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり、古代の文化について説明したりするなどして興味をもたせ、古代の美術作品について考えさせるようにする。



2.3	主題を決めるロマン主義	5 8 ・ 5 9	鑑賞（絵・彫刻）	〔共通事項〕 (1) アイ	知	ロマン主義や写実主義の美術について理解しよう。	知	形や色彩、材料や光などの性質やそれらが感情にもたらす効果、立体感や遠近感などをもとにロマン主義や写実主義の美術について全体のイメージや作風ととらえることを理解している。	形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果、立体感や遠近感などをもとにロマン主義や写実主義の美術について独自の視点からそれらを全体のイメージや作風ととらえることを理解している。	■形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。
				B鑑賞(1)ア(7)	思	ロマン主義や写実主義の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めよう。	思	西洋で受け継がれてきた表現の特質などからロマン主義や写実主義の美術作品がもつよさや美しさを感じ取り、新たな表現を目指した作者の制作の意図や表現の工夫、関連する文化や社会的背景について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って西洋で受け継がれてきた表現の特質などからロマン主義や写実主義の美術作品がもつよさや美しさなどを強く感じ取り、ロマン主義や写実主義の表現の工夫、関連する文化や社会的背景について根拠をもって深く考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身が知っていること関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	ロマン主義や写実主義の美術に興味をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	美術の創造活動の喜びを味わい、ロマン主義や写実主義の作品や関連する美術文化や社会的背景を考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて深く味わい、ロマン主義や写実主義の作品や関連する美術や科学などの文化などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり、古代の文化について説明するなどして興味をもたせ、古代の美術作品について考えさせるようにする。
2.3	光をとらえる印象派	6 0 ・ 6 1	鑑賞（絵・彫刻）	〔共通事項〕 (1) アイ	知	印象派の美術について理解しよう。	知	形や色彩、材料や光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などをもとに印象派の美術について全体のイメージや作風ととらえることを理解している。	形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに、印象派の美術について独自の視点から全体のイメージや作風ととらえることを理解している。	■形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。
				B鑑賞(1)ア(7)	思	印象派の作品のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めよう。	思	西洋で受け継がれてきた表現の特質や日本の影響などから印象派の美術作品がもつよさや美しさを感じ取り、新たな表現を目指した作者の制作の意図や表現の工夫、関連する文化や社会的背景について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って西洋で受け継がれてきた表現の特質や日本の影響などから印象派の美術作品がもつよさや美しさなどを強く感じ取り、印象派の表現の工夫、関連する文化や社会的背景について根拠を持って深く考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身が知っていること関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	印象派の美術に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	美術の創造活動の喜びを味わい、印象派の美術作品や関連する美術文化や社会的背景、日本の影響などを考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて深く味わい、印象派の作品や関連する美術文化や社会的背景、日本の影響などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり、古代の文化について説明するなどして興味をもたせ、古代の美術作品について考えさせるようにする。

2.3	ピクトグラムとサイン計画	6 4 ・ 6 5	表現 (デザイン・ 工芸)	(共通事項) (1) アイ	知	ピクトグラムの意味や役割を理解しよう。	知識	形や色彩などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、設置する場所や造形的な特徴などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。	形や色彩などの性質やそれらが感情にもたらす効果を多様な視点からとらえて理解し、幅広い視野に立って設置する場所や造形的な特徴などを十分に把握し、わかりやすさと美しさとの調和などを全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■伝達のデザインを表現するために形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、経験したことと関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (7)(4)			技能	意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表している。	表現の意図に応じて、形や色彩などが感情にもたらす効果を考えながら新たな表現方法を試行錯誤をするなどして追求し、より洗練されたデザインになるように創意工夫し、制作の順序を十分に意識しながら豊かに表している。	■具体的な描画材料などの生かし方の実演を行いながら説明して既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が表現したいことを確認させる。
				A表現(1)イ (4)	思	伝えたい内容や相手に合ったピクトグラムを考えよう。	発想・ 構想	目的や条件などをもとに、伝える相手や施設、場所のイメージなどから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさなどの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	伝える相手や施設、場所の強いイメージをもって主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさなどの調和、統一感などを多様な視点から総合的に考え、一層伝わりやすく美しい表現の構想を練っている。	■わかりやすい伝達のデザインの主題について考えさせたり、デザインする内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (4)			鑑賞	伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感知取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	わかりやすく伝えるデザインに関心をもち、主体的に表現しよう。	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさなどの調和、統一感などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見直しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどとの調和、統一感などを総合的に考え、独創的な視点から創意工夫して構想を練ろうとしたり、より一層わかりやすく美しいデザインにするために意図に応じて試行錯誤を重ねたりして表現活動に主体的に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるように、なぜそのデザインにしたのかを改めて考えさせたり、描画材料の基本的な使用法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。				
態鑑			美術の創造活動の喜びを味わい、伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感知取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠をもってとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や伝達のデザインの意味などについて考えさせるようにする。					
2.3	ポスターで伝える	6 6 ・ 6 7	表現 (デザイン・ 工芸)	(共通事項) (1) アイ	知	ポスターの機能や意図について理解しよう。	知識	形や色彩などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、構成の美しさなどの造形的な特徴などをもとに、わかりやすさと美しさとの調和などを全体のイメージでとらえることを理解している。	形や色彩などの性質やそれらが感情にもたらす効果を多様な視点からとらえて理解し、幅広い視野に立って構成の美しさなどの造形的な特徴などを十分に把握し、わかりやすさと美しさとの調和などを全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■伝達のデザインを表現するために形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、経験したことと関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (7)(4)			技能	意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表している。	表現の意図に応じて、形や色彩などが感情にもたらす効果を考えながら新たな表現方法を試行錯誤をするなどして追求し、より洗練されたデザインになるように創意工夫し、制作の順序を十分に意識しながら豊かに表している。	■具体的な描画材料などの生かし方の実演を行いながら説明して既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が表現したいことを確認させる。
				A表現(1)イ (4)	思	伝えたい内容や相手に合ったポスターを考えよう。	発想・ 構想	目的や条件などをもとに、伝える相手や場面などのイメージから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果と美しさなどとの調和を考え、伝わりやすく美しい表現の構想を練っている。	目的や条件などをもとに、伝える相手や場面などの強いイメージをもって主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果と美しさなどとの調和を多様な視点から総合的に考え、一層伝わりやすく美しい表現の構想を練っている。	■わかりやすい伝達のデザインの主題について考えさせたり、デザインする内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (4)			鑑賞	伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感知取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	わかりやすく伝えるデザインに関心をもち、主体的に表現しよう。	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見直しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、独創的な視点から創意工夫して構想を練ろうとしたり、より一層わかりやすく美しいデザインにするために意図に応じて試行錯誤を重ねたりして表現活動に主体的に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようになぜそのデザインにしたのかを改めて考えさせたり、描画材料の基本的な使用法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。				
態鑑			美術の創造活動の喜びを味わい、伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感知取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠をもってとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や伝達のデザインの意味などについて考えさせるようにする。					

2.3	錯視の効果を生かして	6 8 ・ 6 9	表現 (デザイン・ 工芸)	(共通事項) (1) アイ	知 錯視の効果を理解し、視線を引きつける表現方法を工夫しよう。	知 形や色彩などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、構成の美しさなどの造形的な特徴などをもとに、錯視の効果と美しさとの調和などを全体のイメージでとらえることを理解している。	知識	形や色彩などの性質やそれらが感情にもたらす効果を多様な視点からとらえて理解し、幅広い視野に立って構成の美しさなどの造形的な特徴などを十分に把握し、錯視の効果と美しさとの調和などを全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■伝達のデザインを表現するために形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、経験したことと関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (7)(4)				意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表している。	
				A表現(1)イ (4)	思 伝えたい内容や目的をもとに、驚きやユーモアのある作品を考えよう。	思 目的や条件などをもとに、伝える相手や社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果と美しさや面白さとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	発 想 ・ 構 想	目的や条件などをもとに伝える相手や社会との関わり、機知やユーモアなどの強いイメージを持って主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果と美しさや面白さとの調和などを多様な視点から総合的に考え、一層伝わりやすく美しい表現の構想を練っている。	■わかりやすい伝達のデザインの主題について考えさせたり、デザインする内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (4)				伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学 驚きやユーモアのある作品の制作を楽しみ、主体的に表現しよう。	主 美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果と美しさや面白さとの調和などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見直しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	態 表	自ら進んで表現の活動に深く関わり、主題を生み出し、伝達の効果と美しさや面白さとの調和などを総合的に考え、独自の視点から創意工夫をして構想を練ろうとしたり、より一層わかりやすく美しいデザインにするために意図に応じて試行錯誤を重ねたりして表現活動に主体的に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようなぜそのデザインにしたのかを改めて考えさせたり、描画材料の基本的な使用方法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。				
				美術の創造活動の喜びを味わい、伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、機知やユーモアなど作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠をもってとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や伝達のデザインの意味などについて考えさせるようにする。			
2.3	誰にでもわかりやすく伝える	7 0 ・ 7 1	表現 (デザイン・ 工芸)	(共通事項) (1) アイ	知 形や色彩などの性質を理解し、誰にでも伝わる図やイラストを工夫しよう。	知 形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、見立てたり心情などと関連づけたりして全体のイメージでとらえることを理解している。	知識	形や色彩、材料などの性質やそれらが感情にもたらす効果を多様な視点からとらえて理解し、造形的な特徴などを十分に把握し、わかりやすさと美しさとの調和などを全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■伝達のデザインを表現するために形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、経験したことと関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (7)(4)				意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表している。	
				A表現(1)イ (4)	思 情報がわかりやすく伝わる表し方を考えよう。	思 目的や条件などをもとに、伝える相手や施設、場面などのイメージなどから主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、機知やユーモア、わかりやすさと美しさなどの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	発 想 ・ 構 想	目的や条件などをもとに伝える相手や施設、場面などの強いイメージをもって主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、機知やユーモア、わかりやすさと美しさなどの調和などを多様な視点から総合的に考え、一層伝わりやすく美しい表現の構想を練っている。	■わかりやすい伝達のデザインの主題について考えさせたり、デザインする内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (4)				伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学 情報を伝えるデザインに関心をもち、主体的に表現しよう。	主 美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさなどとの調和などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見直しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	態 表	自ら進んで表現の活動に深く関わり、主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさなどとの調和などを総合的に考え、独自の視点から創意工夫して構想を練ろうとしたり、より一層わかりやすく美しいデザインにするために意図に応じて創意工夫をし表現方法の試行錯誤を重ねたりして表現活動に主体的に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようなぜそのデザインにしたのかを改めて考えさせたり、描画材料の基本的な使用方法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。				
				美術の創造活動の喜びを味わい、伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠をもってとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や伝達のデザインの意味などについて考えさせるようにする。			

2.3	パッケージで魅力を伝える	7 2 ・ 7 3	表現 (デザイン・工芸)	(共通事項) (1) アイ	知 形や色彩などの性質を理解し、パッケージの形や装飾を工夫しよう。	知 知識	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。	形や色彩、材料などの性質やそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などを多様な視点からとらえて理解し、幅広い視野に立って全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■使う目的と機能のあるデザインを表現するために形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、経験したことと関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (7)(4)			知 技能	意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	表現の意図に応じて、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果を考えてながら新たな表現方法を試行錯誤をするなどして追求し、より洗練されたデザインになるように創意工夫し、制作の順序を十分に意識しながら豊かに表している。
				A表現(1)イ (4)	思 機能的で美しいパッケージデザインを考えよう。	思 発想・構想	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、包み込むパッケージの機能と美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、包み込むパッケージの機能と美しさとの調和などを多様な視点から総合的に考え、より一層、用途や機能と美しさの調和を考えた表現の構想を練っている。	■使いやすく美しい目的と機能のあるデザインの主題について考えさせたり、デザインする内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (4)			思 鑑賞	包み込むパッケージの機能との調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	包み込むパッケージの目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学 パッケージデザインに関心をもち、主体的に表現しよう。	主 態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、機能と美しさとの調和などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、社会との関わり、機知やユーモア、包み込むパッケージの特徴を総合的に考え、独創的な視点から創意工夫して構想を練ろうとしたり、より一層機能的で美しいデザインにするために意図に応じて試行錯誤を重ねたりして表現活動に主体的に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようなぜそのデザインにしたのかを改めて考えさせたり、描画材料の基本的な使用方法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。				
主 態度			美術の創造活動の喜びを味わい、包み込むパッケージデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えて見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に包み込むパッケージの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠を持ってとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や伝達のデザインの意味などについて考えさせるようにする。				
2.3	本の形で表現しよう	7 4 ・ 7 5	表現 (デザイン・工芸)	(共通事項) (1) アイ	知 形や色彩、材料の性質を理解し、本の形や装飾を工夫しよう。	知 知識	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、見立てるなどして全体のイメージでとらえることを理解している。	形や色彩、材料などの性質やそれらが感情にもたらす効果を多様な視点からとらえて理解し、幅広い視野に立って構成の美しさなどの造形的な特徴などを十分に把握し、わかりやすさと美しさとの調和などを全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■伝達のデザインを表現するために形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、経験したことと関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (7)(4)			知 技能	意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	表現の意図に応じて、形や色彩などが感情にもたらす効果を考えてながら新たな表現方法を試行錯誤をするなどして追求し、より洗練されたデザインになるように創意工夫し、制作の順序を十分に意識しながら豊かに表している。
				A表現(1)イ (4)	思 伝えたい内容に合わせた本のデザインを考えよう。	思 発想・構想	目的や条件などをもとに、伝える相手などのイメージ、機知やユーモアなどから主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、わかりやすさや面白さと美しさなどの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	目的や条件などをもとに、伝える相手などの強いイメージ、機知やユーモアをもって主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、わかりやすさや面白さと美しさなどの調和などを多様な視点から総合的に考え、一層伝わりやすく美しい表現の構想を練っている。	■わかりやすい伝達のデザインの主題について考えさせたり、デザインする内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (4)			思 鑑賞	本のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	本のデザインの目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学 本の形で伝えるデザインに関心をもち、主体的に表現しよう。	主 態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさ、面白さなどの調和、統一感などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさ、面白さなどの調和、統一感などを総合的に考え、独創的な視点から創意工夫して構想を練ろうとしたり、より一層わかりやすく美しいデザインにするために意図に応じて試行錯誤を重ねたりして表現活動に主体的に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようなぜそのデザインにしたのかを改めて考えさせたり、描画材料の基本的な使用方法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。				
主 態度			美術の創造活動の喜びを味わい、本のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠をもってとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や伝達のデザインの意味などについて考えさせるようにする。				

2.3	安心と安全のデザイン	7 6 ・ 7 7	表現 (デザイン・ 工芸)	〔共通事項〕 (1) アイ	知	形や色彩の性質を理解し、多くの人にわかりやすく伝える方法を工夫しよう。	知識	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。	形や色彩、材料などの性質やそれらが感情にもたらす効果を多様な視点からとらえて理解し、幅広い視野に立って設置する場所や場面、造形的な特徴などを十分に把握し、わかりやすさと美しさとの調和などを全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■伝達のデザインを表現するために形や色彩が感情にもたらす効果を美的に理解できるよう、経験したことと関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (ア)(イ)			技能	意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	表現の意図に応じて、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果を考えてながら新たな表現方法を試行錯誤をするなどして追求し、より洗練されたデザインになるように創意工夫し、制作の順序を十分に意識しながら豊かに表している。	■具体的な描画材料などの生かし方の実演を行いながら説明して既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が表現したいことを確認させる。
				A表現(1)イ (イ)	思	伝えたい内容や相手に合った作品を考えよう。	発想・ 構想	目的や条件などをもとに、伝える相手や場所、伝達方法、機知やユーモアなどから主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさなどの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	伝える相手や場所、伝達方法などの強いイメージを持って機知やユーモアを生かすなどして主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさなどの調和、統一感などを多様な視点から総合的に考え、一層伝わりやすく美しい表現の構想を練っている。	■わかりやすい伝達のデザインの主題について考えさせたり、デザインの内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (イ)			鑑賞	安心と安全のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	安心と安全のデザインの目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	身のまわりの安心や安全に役立つデザインに関心を持ち、主体的に取り組もう。	態 表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさや面白さなどの調和、統一感を総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、主題を生み出し、わかりやすさと美しさや面白さなどの調和、統一感などを総合的に考え、独創的な視点から創意工夫して構想を練ろうとしたり、より一層わかりやすく美しいデザインにするために意図に応じて試行錯誤を重ねたりして表現活動に主体的に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようになぜそのデザインにしたのかを改めて考えさせたり、描画材料の基本的な使用法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。				
					態 鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、安心と安全のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に安心と安全のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠をもってとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や伝達のデザインの意味などについて考えさせるようにする。		
2.3	空間を快適に生き生きと	7 8 ・ 7 9	表現 (デザイン・ 工芸)	〔共通事項〕 (1) アイ	知	形や色彩、材料の性質を理解し、空間を表現する方法を工夫しよう。	知識	形や色彩、材料や光などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。	形や色彩、材料や光などの性質やそれらが感情にもたらす効果を多様な視点からとらえて理解し、幅広い視野に立って構成の美しさなどの造形的な特徴などを十分に把握し、空間の豊かさや美しさとの調和などを全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■空間を装飾するデザインを表現するために形や色彩が感情にもたらす効果を美的に理解できるよう、経験したことと関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (ア)(イ)			技能	意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	表現の意図に応じて、形や色彩、材料や光などが感情にもたらす効果を考えてながら新たな表現方法を試行錯誤をするなどして追求し、より洗練されたデザインになるように創意工夫し、制作の順序を十分に意識しながら豊かに表している。	■具体的な描画材料などの生かし方の実演を行いながら説明して既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が表現したいことを確認させる。
				A表現(1)イ (イ)	思	空間の用途や機能から発想し、快適で美しい演出を構想しよう。	発想・ 構想	構成や装飾の目的や条件などをもとに、用いる場面や環境、社会との関係などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて快適な空間のための調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。	構成や装飾の目的や条件などをもとに、用いる場面や環境、社会との関係などを強くイメージしながら主題を生み出し、美的感覚を強く働かせて快適な空間のための調和のとれた洗練された美しさなどを多様な視点から総合的に考え、より一層空間の用途や機能と美しさの調和を考えた表現の構想を練っている。	■快適で美しい空間を装飾するデザインの主題について考えさせたり、デザインの内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (イ)(イ)			鑑賞	構成や装飾の目的や条件と快適な空間のための調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えたり、身近な環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取り、生活や社会を豊かにする美術の働きなどについて考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	構成や装飾の目的や条件と快適な空間のための調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きなどについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	空間の演出に関心を持ち、主体的に取り組もう。	態 表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、構成や装飾の目的や条件と快適な空間のための調和のとれた洗練された美しさを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、主題を生み出し、構成や装飾の目的や条件と快適な空間のための調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え、独創的な視点から創意工夫して構想を練ろうとしたり、より一層空間の用途や機能と美しさの調和を考えたデザインにするために意図に応じて試行錯誤を重ねたりして表現活動に主体的に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようになぜそのデザインにしたのかを改めて考えさせたり、描画材料の基本的な使用法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。				
					態 鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、構成や装飾の目的や条件と快適な空間のための調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に構成や装飾の目的や条件と快適な空間のための調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠をもってとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や伝達のデザインの意味などについて考えさせるようにする。		

2.3	明かりの形	8 0 ・ 8 1	表現 (デザイン・ 工芸)	〔共通事項〕 (1) アイ	知	材料や光の性質を理解し、生活の中で生きる明かりを工夫しよう。	知識	形や色彩、材料や光などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをとらえて理解している。	形や色彩、材料や光などの性質やそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などを多様な視点からとらえて理解し、幅広い視野に立って全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■使う目的と機能のあるデザインを表現するために形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、経験したことと関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (7)(4)			技能	材料や用具の特性を理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	表現の意図に応じて、形や色彩、材料や光などが感情にもたらす効果を考えながら新たな表現方法を試行錯誤をするなどして追求し、より洗練されたデザインになるように創意工夫し、制作の順序を十分に意識しながら豊かに表している。	■具体的な描画材料などの生かし方の実演を行いながら説明して既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が表現したいことを確認させる。
				A表現(1)イ (9)	思	使う目的や用途から発想し、美しい明りの作品を構想しよう。	発想・ 構想	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、使いやすさや機能、安全性と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、使いやすさや機能、安全性と美しさなどの調和などを多様な視点から総合的に考え、より一層用途や機能と美しさの調和を考えた表現の構想を練っている。	■使いやすくて美しい目的と機能のあるデザインの主題について考えさせたり、デザインする内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (4)			鑑賞	明かりのデザインの目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	明かりのデザインの目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	明かりの光の美しさに関心をもち、主体的に取り組もう。	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料や光などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場所などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、主題を生み出し、形や色彩、材料や光などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場所などを総合的に考え、独創的な視点から創意工夫して構想を練ろうとしたり、より一層機能的で美しいデザインにするために意図に応じて試行錯誤を重ねたりして表現活動に主体的に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようになぜそのデザインにしたのかを改めて考えさせたり、描画材料の基本的な使用法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。				
態鑑			美術の創造活動の喜びを味わい、明かりのデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に明かりのデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠をもってとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や伝達のデザインの意味などについて考えさせるようにする。					
2.3	型から生まれる形	8 2 ・ 8 3	表現 (デザイン・ 工芸)	〔共通事項〕 (1) アイ	知	材料や用具の特性を理解し、型を使ってつくる方法を工夫しよう。	知識	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをとらえて理解している。	形や色彩、材料などの性質やそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などを多様な視点からとらえて理解し、幅広い視野に立って全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■使う目的と機能のあるデザインを表現するために形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、経験したことと関連づけて考えさせる。
				A表現(2)ア (7)(4)			技能	材料や用具の特性を理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	表現の意図に応じて、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果を考えながら新たな表現方法を試行錯誤をするなどして追求し、より洗練されたデザインになるように創意工夫し、制作の順序を十分に意識しながら豊かに表している。	■具体的な描画材料などの生かし方の実演を行いながら説明して既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が表現したいことを確認させる。
				A表現(1)イ (9)	思	同じ形ができることから発想し、生活に生かす作品を構想しよう。	発想・ 構想	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、使いやすさ、機能性、利便性と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、使いやすさ、機能性、利便性と美しさなどの調和などを多様な視点から総合的に考え、より一層、用途や機能と美しさの調和を考えた表現の構想を練っている。	■使いやすくて美しい目的と機能のあるデザインの主題について考えさせたり、デザインする内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (4)			鑑賞	型による造形の目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	型による造形の目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	型を使った工芸作品に関心をもち、主体的に取り組もう。	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場面、型による造形の特徴を総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場所、型による造形の特徴を総合的に考え、独創的な視点から創意工夫して構想を練ろうとしたり、より一層機能的で美しいデザインにするために意図に応じて試行錯誤を重ねたりして表現活動に主体的に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようになぜそのデザインにしたのかを改めて考えさせたり、描画材料の基本的な使用法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。				
態鑑			美術の創造活動の喜びを味わい、型による造形の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に型による造形の調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠を持ってとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や伝達のデザインの意味などについて考えさせるようにする。					

2.3	織る、編む、組む	8 4 ・ 8 5	表現 (デザイン・ 工芸)	(共通事項) (1) アイ	知	材料の性質を理解し、織り方や編み方を工夫しよう。	知	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをとらえて理解している。	形や色彩、材料などの性質やそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などを多様な視点からとらえて理解し、幅広い視野に立って全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■使う目的と機能のあるデザインを表現するために形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、経験したことと関連づけて考えさせる。	
				A表現(2)ア (7)(4)				技能	材料や用具の特性を理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	表現の意図に応じて、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果を考えてながら新たな表現方法を試行錯誤をするなどして追求し、より洗練されたデザインになるように創意工夫し、制作の順序を十分に意識しながら豊かに表している。	■具体的な描画材料などの生かし方の実演を行いながら説明して既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が表現したいことを確認させる。
				A表現(1)イ (7)	思	使う目的や用途から発想し、織ったり編んだりしてつくる作品を考えよう。	思	発想・ 構想	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、使いやすさ、機能性、利便性と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、使いやすさ、機能性、利便性と美しさなどの調和などを多様な視点から総合的に考え、より一層用途や機能と美しさの調和を考えた表現の構想を練っている。	■使いやすくて美しい目的と機能のあるデザインの主題について考えさせたり、デザインする内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (4)				鑑賞	織ったり編んだり組んだりする造形の目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	織ったり編んだり組んだりする造形の目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	織ったり編んだりしてつくられた工芸作品に関心をもち、主体的に取り組もう。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場面、織ったり編んだり組んだりする造形の特徴を総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場面、織ったり編んだり組んだりする造形の特徴を総合的に考え、独創的な視点から創意工夫して構想を練ろうとしたり、より一層機能的で美しいデザインにするために意図に応じて試行錯誤を重ねたりして表現活動に主体的に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようになぜそのデザインにしたのかを改めて考えさせたり、描画材料の基本的な使用法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。				
態鑑				美術の創造活動の喜びを味わい、織ったり編んだり組んだりする造形の調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に織ったり編んだり組んだりする造形の調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠をもってとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や伝達のデザインの意味などについて考えさせるようにする。					
2.3	木でつくる遊びの形	8 6 ・ 8 7	表現 (デザイン・ 工芸)	(共通事項) (1) アイ	知	木の性質を理解し、遊ぶものづくり方を工夫しよう。	知	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをとらえて理解している。	形や色彩、材料などの性質やそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などを多様な視点からとらえて理解し、幅広い視野に立って全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■使う目的と機能のあるデザインを表現するために形や色彩が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、経験したことと関連づけて考えさせる。	
				A表現(2)ア (7)(4)				技能	材料や用具の特性を理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	表現の意図に応じて、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果を考えてながら新たな表現方法を試行錯誤をするなどして追求し、より洗練されたデザインになるように創意工夫し、制作の順序を十分に意識しながら豊かに表している。	■具体的な描画材料などの生かし方の実演を行いながら説明して既習事項を思い出させ、主題を整理させて生徒自身が表現したいことを確認させる。
				A表現(1)イ (7)	思	使う目的や用途から発想し、安全で楽しく遊べる作品を考えよう。	思	発想・ 構想	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、機知やユーモア、使いやすさ、機能性、安全性と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、機知やユーモア、使いやすさ、機能性、安全性と美しさなどの調和などを多様な視点から総合的に考え、より一層、用途や機能と美しさの調和を考えた表現の構想を練っている。	■使いやすくて美しい目的と機能のあるデザインの主題について考えさせたり、デザインする内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせたりするなどして、構想しやすくする。
				B鑑賞(1)ア (4)				鑑賞	木のおもちゃの目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	木のおもちゃの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、活動中にどのようなことを考えたか思い出させて、他者の作品の見方や感じ方を深めさせる。
*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	木でつくられた工芸品に関心をもち、主体的に取り組もう。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場面、木のおもちゃの特徴を総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで表現の活動に深く関わり、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場面、木のおもちゃの特徴を総合的に考え、独創的な視点から創意工夫して構想を練ろうとしたり、より一層機能的で美しいデザインにするために意図に応じて試行錯誤を重ねたりして表現活動に主体的に取り組もうとしている。	■主体的に表現の活動ができるようになぜそのデザインにしたのかを改めて考えさせたり、描画材料の基本的な使用法を個人的に指導したりするなどして意欲を高められるようにする。				
態鑑				美術の創造活動の喜びを味わい、木のおもちゃの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に木のおもちゃの調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠をもってとらえようとするなどして見方や感じ方を積極的に深めようとしている。	■自分の作品の主題や表現の意図を改めて考えさせ、他者の作品の特徴や伝達のデザインの意味などについて考えさせるようにする。					



2.3	生活に生きる伝統工芸品	8 8 ・ 8 9	鑑賞（デザイン・工芸）	[共通事項] (1) アイ	知	材料の特徴を生かした伝統工芸品のよさや美しさを理解しよう。	知	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをとらえることを理解している。	形や色彩、材料などの性質やそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などを多様な視点からとらえて理解し、幅広い視野に立って全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。	
				B鑑賞(1)ア (イ)イ(イ)	思	伝統工芸のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を広げよう。	思	発想・ 鑑賞	伝統工芸品の目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えたり、美術文化の継承と創造について考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	伝統工芸品の目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割、美術文化の継承と創造などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身が知っていること関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	地域や伝統に根差した造形やデザインに関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主 態 鑑	態 表	美術の創造活動の喜びを味わい、伝統工芸品の調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に伝統工芸品の調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠をもってとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり、現代につながる伝統工芸品について説明したりするなどして興味をもたせ、古代の美術作品について考えさせるようにする。
2.3	伝統と創造	9 0 ・ 9 1	鑑賞（デザイン・工芸）	[共通事項] (1) アイ	知	伝統の技から生まれる新しい造形について理解しよう。	知	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをとらえることを理解している。	形や色彩、材料などの性質やそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などを多様な視点からとらえて理解し、幅広い視野に立って全体のイメージでより深くとらえることを理解している。	■形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。	
				B鑑賞(1)ア (イ)イ(イ)	思	伝統を生かした造形のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を広げよう。	思	発想・ 鑑賞	伝統を生かした造形の目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えたり、美術文化の継承と創造について考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	伝統を生かした造形の目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、根拠をもって深く考え、生活の中のデザインの役割、美術文化の継承と創造などを多様な視点に立って、自分としての見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身が知っていること関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	伝統から生まれる創造性に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主 態 鑑	態 表	美術の創造活動の喜びを味わい、伝統を生かした造形の調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、主体的に伝統を生かした造形の調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて、独自の視点から根拠をもってとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり、現代につながる伝統工芸の技について説明したりするなどして興味をもたせ、古代の美術作品について考えさせるようにする。



2.3	ゲルニカで伝えたかったこと	9 4 ・ 9 5	鑑賞 (絵・彫刻)	[共通事項] (1) アイ	知	ゲルニカが描かれた背景や造形表現について理解しよう。	知	形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。	形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをとらえることを理解している。	■形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。	
				B鑑賞(1)ア (7)	思	ピカソの表現の意図や工夫を考え、作品の見方や感じ方を深めよう。	思	表現の特質などからゲルニカがもつよさや意味深さを感じ取り、ピカソの制作の意図や表現の工夫、関連する文化や社会的背景について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って表現の特質などからゲルニカがもつよさや美しさや意味深さなどを強く感じ取り、ピカソの制作の意図や表現の工夫、関連する文化や社会的背景について根拠をもって深く考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身が知っていること関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。	
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	平和や命の尊さについて関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	美術の創造活動の喜びを味わい、ピカソの制作の意図や表現の工夫、ゲルニカや関連する美術文化や社会的背景を考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて深く味わい、ゲルニカや関連する美術文化や社会的背景などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり当時の美術文化や社会的背景について説明したりするなどして興味をもたせ、ゲルニカについて考えさせるようにする。	
2.3	美術で世界と向き合う	9 6 ・ 1 0 1	鑑賞 (絵・彫刻)	[共通事項] (1) アイ	知	それぞれの作品の造形的な特徴、作品が制作された背景を理解しよう。	知	形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解し、池田学とダミアン・ハーストの作品を全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをとらえることを理解している。	■形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。	
				B鑑賞(1)ア (1)イ(1)	思	それぞれの作家が作品を通して伝えたかったことは何か話し合ってみよう。	思	表現の特質などから池田学とダミアン・ハーストの作品がもつよさや美しさ、強さや意味深さなどを感じ取り、作者の制作の意図や表現の工夫、社会に対する主張、関連する文化や社会的背景について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って表現の特質などから池田学とダミアン・ハーストの作品がもつよさや美しさ、強さや意味深さなどを強く感じ取り、作者の制作の意図や表現の工夫、関連する文化や社会的背景について根拠をもって深く考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身が知っていること関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。	
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	世界に働きかける美術について関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	美術の創造活動の喜びを味わい、作者の制作の意図や表現の工夫、社会に対する主張、関連する美術文化や社会的背景を考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて深く味わい、池田学とダミアン・ハーストの作品や関連する美術文化や社会的背景などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり作家が考えていることなどについて説明したりするなどして興味をもたせ、現代の美術について考えさせるようにする。	

2.3	リノベーション、 使い続ける工夫	1 0 2 ・ 1 0 3	鑑賞（デザイン・工芸）	〔共通事項〕 (1) アイ	知	リノベーションの意味や役割を理解しよう。	知	形や色彩、材料や光など性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解し、リノベーションされた建築を全体のイメージや作風でとらえることやリノベーションすることの意味を理解している。	形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをとらえることやリノベーションされた建築について独自の視点から全体のイメージや作風でとらえることやリノベーションすることの意味を理解している。	■形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。
				B鑑賞(1)ア (イ)(ア)(イ)	思	既存の建物がどのように活用されているのか考えよう。	思	表現の特質などからリノベーションされた建築がもつよさや美しさ、強さや意味深さなどを感じ取り、建築家や芸術家の設計や制作の意図や表現の工夫、社会に対する主張、関連する文化や社会的背景について考えるなどして、リノベーションすることの意味について、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って表現の特質などからリノベーションされた建築がもつよさや美しさ、強さや意味深さなどを強く感じ取り、建築家や芸術家の制作の意図や表現の工夫、生活や社会を豊かにする美術の働き、関連する文化や社会的背景について根拠をもって深く考えるなどして、リノベーションすることの意味について、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身が知っていること関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	身近な建物の再利用を通して、環境や社会の問題に関心を持ち、主体的に鑑賞しよう。	主 態 鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、建築家や芸術家の制作の意図や表現の工夫、社会に対する主張、関連する美術文化や社会的背景を考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、リノベーションされた建築がもつ造形的なよさや美しさ、強さや意味深さなどについて深く味わい、リノベーションされた建築や関連する美術文化や社会的背景などについて新たな視点からとらえようとするなどして、リノベーションすることの意味について見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり作家が考えていることなどについて説明したりするなどして興味をもたせ、現代の美術について考えさせるようにする。
2.3	私たちの社会と美術	1 0 4 ・ 1 0 5	鑑賞（絵・彫刻）	〔共通事項〕 (1) アイ	知	それぞれの作品にどのようなメッセージが込められているのか理解しよう。	知	形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解し、社会と関わる現代の作品を全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをとらえることや社会と関わる現代の作品について独自の視点から全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	■形や色彩、材料が感情にもたらす効果を実感的に理解できるよう、身近な経験と関連づけて考えさせる。
				B鑑賞(1)ア (イ)(イ)(イ)	思	美術を通して何ができるのか考えてみよう。	思	表現の特質などから社会と関わる現代の作品がもつよさや美しさ、意味深さを感じ取り、作者の制作の意図や表現の工夫、社会に対する主張、関連する多様な文化や社会的背景について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	独自の視点に立って表現の特質などから社会と関わる現代の作品がもつよさや美しさ、意味深さなどを強く感じ取り、作者の制作の意図や表現の工夫、関連する多様な文化や社会的背景について根拠をもって深く考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	■生徒自身の表現の活動をふり返らせ、自分自身が知っていること関連づけて考えさせるなどして見方や感じ方を深めさせる。
				*目標(3)より。評価もと準はこのうち観点別評価になじむもの	学	私たちの社会と美術の関係に関心を持ち、主体的に鑑賞しよう。	主 態 鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、作者の制作の意図や表現の工夫、社会に対する主張、関連する多様な文化や社会的背景を考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさ、意味深さなどについて深く味わい、社会と関わる現代の作品や関連する多様な文化や社会的背景などについて新たな視点から作品をとらえようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	■自身の表現活動と関連づけて考えさせたり作家が考えていることなどについて説明したりするなどして興味をもたせ、現代の美術について考えさせるようにする。